



RI会長 ゲイリー・C.K.ホアン
第2640地区ガバナー 辻 秀和



2014-2015年
海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第1808回例会

平成26年11月10日(月)

18:30～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. 国歌斉唱

「君が代」

3. ロータリーソング

「奉仕の理想」

4. 出席報告

会員総数 48名 出席者数 28名

出席率 58.33% 前回修正出席率 77.83%

5. 会長スピーチ

会長 山東 剛一 君

みなさん、こんばんは。

先週は休会でしたので2週間ぶりの例会となりました。昨日は海南市の防災訓練の日で朝からサイレンが鳴りひびき午前中は慌しいものでした。私も異地区の訓練会場である異中学校に行き、地域の方々や小・中学生と簡易トイレを作るお手伝いをしました。体育館を4つのブースに分けて小・中学生、地域の婦人会、老人会、自治会、消防、市職員が熱心に色々の訓練をしました。神出市長はじめ危機管理課の職員もきて指導にあたり、有意義な防災訓練でした。

さて、今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団を説明すると直前のRI会長は「ロータリー財団とは、文字通りロータリーを支える土台である」と言っておられます。2011年3月、東日本では森地にくらしているみなさんの足元の地盤が一瞬にしてくずれおちました。行方不明者とあわせて2万人近くの方が亡くなられ、3,000億ドル以上の損害がでていると言われていいます。東日本大震災の被災者の方々に私たちは遠い所に住む見知らぬ人たちのこととして中々ピンとこないものです。しかし、自分たちもいつそういう立場に置かれるかもしれません。災害、貧困、戦争などで苦しんでいる方々を一人ででもできないことはありませんが、財団を通じて一人でよりもっ



と多くの人が力を合わせて「世界でよいことをしよう」という財団のモットーを実践していきましょう。財団のことは、あらためて財団委員会からお話があるかと思います。

このあとIDMの各組の報告があります。ご清聴下さい。ありがとうございます。

6. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

粉河RC 11月12日(水)→11月12日(水)

18:30～ いろは(穴状)

新入会員歓迎例会

11月26日(水)→11月26日(水)

12:30～ 紀の川市商工会2F

(内部卓話)

有田RC 11月20日(木)→11月20日(木)

19:00～ 橘家

(有田2000RCとの合同例会)

和歌山西RC 11月26日(水)→11月27日(木)

18:00～ 割烹「華新」

和歌山城南RC 11月27日(木)→11月27日(木)

18:30～ あおい茶寮

(会員忘年例会)

有田2000RC 12月17日(水)→12月20日(土)

クリスマス例会

○休会のお知らせ

有田2000RC 12月14日(水)

○11月ロータリーレート

1\$ = 106円

○新クラブRI加盟認証のお知らせ

河内長野高野街道RC

2014年10月7日 チャーターメンバー 21名

クラブ事務所 〒586-0048大阪府河内長野市

三日市町560-61 末広ビル

TEL 0721-65-6508 FAX 0721-62-7011

例会場 河内長野市立三日市市民ホール3F

例会日 毎週木曜日 18:30～19:30

11月はロータリー財団月間です



公益財団法人

ロータリー日本財団

<http://piif-rfj.org/>

四つのテスト 實行はこれにてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 山東 剛一

幹事: 中西 秀文

SAA: 山田 裕之

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

○ I D M 1 組

1組は9月2日に美登利で行いました。出席者は宮田、岩井、谷脇、朝井、総田、阪口の6名でした。



周年事業の概略について岩井さんより説明があり、その後話し合いを行いました。

- ・35 周年の時の会員数は 70 名を越していたが現在は 50 名を切っている状態である。年会費は 400 万円以上減少しています。身の丈に合った周年行事にすることが良いのではないかと。
- ・50 周年に向けての準備をしておくことが必要です。たとえば積立金を準備する。
- ・海南一中跡にスポーツセンターが出来るので、何か寄付を行ったらどうか。
- ・公共の施設に AED を寄付したらどうか。行政に問い合わせて何処に寄付するのが適切か検討する。

- ・入会の可能性のある人の具体的な名前が挙げられ今後検討すること。

発表 中村 俊之 君

日時は平成26年9月16日7時～、
場所は「うたげ」、出席者は、大江、
中村、岸、田岡、吉田、山名、荻野、
上野山の8名でした。



・記念誌に故人の思い出のある方の
ゆかりの話などをのせては。

- ・メンバーが少なくなっているなので、積立金は5年間では無理では。
- ・5の周年は質素にしなければいけないのでは

やはり年間2名は増強していかないといけない。

- ・心当たりは声をかけるようにする
- ・声をかけていた人が海南西ロータリーに入会すること
のことで、やはり何度も足を運ぶことが必要だ。

- ・弁当の数量は減らしても、席数は今まで通りにして欲しい。

- ・外部卓話をもう少し増やして欲しい。海南の他のロータリーメンバーでもいいから、情報交換したい。
- ・R I が弱体化してきているので厳しくは言っていないが、ある程度綱領に沿った姿勢も必要では（出席率、服装等）

発表 中西 秀文 君

8月29日（金）PM7：00～、たなか屋で開催。出席者は8人でした。

実行委員会の宇恵さんから 40 周年記念事業と記念ゴルフ大会の費用を含めた概要の説明があり、ID11 組から 5 組の 40 周年についての要望を聞いてから委員会で話し合



会員が減少している中、儉約してやってほしいという意見がありました。

3) クラブ行事・例会への要望

- ・古いメンバーの方がたくさん退会され、若い会員に代わりつつあるので、若い会員が出席しやすい様に例会の多少の変更を考えたらいいいのではないかな
- ・例会の開始時間の変更等（夜例会 PM7：00～）
- ・海南 3 クラブの合同例会を増やす。
- ・食事をセルフサービスにしてはどうか（コストダウンの為に）他クラブでもそういうクラブがあるので。前回とメンバーが一緒だったのでお酒を飲んで盛り上がり最高に楽しい IDM になりました。

君 廣 出 横 表 發

9月19日、18:30～、美登利で開催。9名出席。



実行委員会にすべてお任せいたします。(予算等があるので)

記念事業として、記念誌をCDで
作成してはどうか。

地区の問題もあるので増強はやりづらい
退会防止も重要な課題

IDMメンバーが前回と同じだった。前回のレポートを見て下さい。

現状で問題はないと、思います

意見としては、例会時間を昼・夜の隔週にしては、いかがですか（理事会で臨時変更）

I D Mで出た意見を理事会で検討し、決定事項があれば、次回 I D Mで再検討するのも、いいと思う。以上ですが雑談として、ロータリーの定年制についての意見交換が有りました。このあと、楠部さんの人生哲学をお聞きして散会となりました。

発表 寺下 卓 君

9月17日に和歌山のいなか屋で開催。出席者は花田、三木、大谷、魚谷、角谷、田中、箕嶋、寺下の8名でした。



式典のアトラクションとしては、
ぐろの解体ショーを行ってはどう

か。5、6年前の新春例会で行ってから期間もたっており、海外からのゲストもあるので、楽しんでもらえると思う。また、記念事業は、最近、災害が多いので、防災用品を避難施設に寄付してはどうか。以前の記念事業で時計など寄贈したが、メンテナンスも伴ってしまうので、壊れないものや賞味期限もなく役に立つものとして、毛布に海南東ロータリーの名前を刺繍して体育館などに置いてもらってはと意見がでました。

若いメンバーを勧誘するなど、みんなで心がける。

2640 地区の問題で情報交換したが、早く正常な状態に戻してほしいなどの意見がでました。

ニコニコ・BOX

Happy birthday !

11 月のお祝い

○会員誕生日

4 日	前田 洋三 君	9 日	吉田 昌生 君
2 7 日	深谷 政男 君	2 9 日	岩井 克次 君

○奥様・旦那様誕生日

1 日	山名 道代 様	1 2 日	千賀 基子 様
1 9 日	角谷 みゆき 様	2 0 日	朝井 郁子 様
2 1 日	林 美紀 様	2 6 日	木地 チズヨ 様

○結婚記念日

1 日	寺下 卓 君	3 日	上田 善計 君
5 日	三木 正博 君	8 日	岩井 克次 君
1 6 日	楠部 賢計 君	2 1 日	花田 宗弘 君
2 2 日	中村 俊之 君	2 7 日	林孝 次郎 君
2 7 日	田岡 郁敏 君		

○一般ニコニコ

山東 剛一 君 昨日の海南市防災訓練に参加しました。有意義な時間でした。

山田 裕之 君 吉田先生にチケットを頂き、県立博物館に行ってきました。

松井 友 様 「ミンダナオ子ども 図書館」

ポリオ撲滅活動への支援を世界中のロータリークラブから募るために、オーストラリアと英国のロータリアンが協力し、ソーシャルメディアを活用した食事イベント "World's Greatest Meal" を行いました。

ソーシャルメディアは、シェア（共有）、コメント、「いいね！」の選択、リツイートなどの方法で情報を拡散できる、効果絶大の広報ツールです。直接の友人だけでなく、友人の友人、さらにその友人へと、投石で水面に広がる波のようにメッセージが広がります。

メッセージを掲載したら、クラブ仲間や関係者に「いいね!」、シェア、リツイートをお願いしましょう。

5. 少しの資金で広報効果をアップ

リッチ・ラリーさんによると、フェイスブックにメッセージを掲載した場合、以前なら 60~80%の友人・知人に見てもらえることができたそうですが、現在は閲覧者数の制限があるため、運がよくても 8%ほどだそうです。ではどうするか。ラリーさんは、25~50 ドルほどの予算で、効果を大幅にアップできると話します。たとえば、クラブで 5km の市民マラソンを計画している場合、開催地付近の住民や出場者などをターゲットに絞った広告を出すことで、数千人にメッセージを伝えることができます。フェイスブックでイベント専用ページを作ったら、画面上の「広告を作成」をクリックしてみましょう。

ロータリーの友情と奉仕に輝きを

11 月の RI 会長メッセージ 黄其光 (Gary C. K. Huang)

親愛なるロータリアンの皆さん、「ロータリーに輝きを」に努める年度も 4 か月が過ぎ、私は今まで以上にロータリーを楽しんでいます。22 か国の、数十もの都市を訪れ、何千人ものロータリアンに会いました。見事なプロジェクトを目にし、ロータリアンたちが世界のあらゆるところで行っている素晴らしい活動に、繰り返し、繰り返し刺激を受けました。また、私はクラブの例会からロータリー研究会に至るまで、ロータリーデーから財団の晩餐会に至るまで、ロータリーのさまざまな行事に出席する機会に恵まれています。



どれも忘れることのできないイベントですが、特に光栄に思うのはクラブのお祝いの席に招かれた時です。私にとって、国際ロータリー (RI) の会長としてロータリークラブの祝賀会に出席することは、賓客として家族のイベントに招待されたようなものです。実際、ロータリーは世界で最も大きな家族です。

ロータリーは奉仕と友情から成り立つ建物

ロータリーは奉仕から成り立っていると言えます。一つひとつのプロジェクトというレンガから成る大きな建物、それがロータリーなのです。私たちの奉仕をレンガとするなら、レンガ同士をつなげるモルタルが友情であることに疑いはありません。このようなことを私は日々経験していますが、創立 100 周年を迎えたロータリークラブの祝賀イベントほどそれが顕著になる場はありません。創立 110 周年の年に国際ロータリーの会長になり、このようなイベントに参加することができて、私は幸運でした。長年、奉仕を実践しているクラブを訪れた時、その秘訣を知りたくなるのは当然のことです。なぜならば、長年奉仕を実践しているクラブは、とても建設的なクラブであると注目していたからです。彼らは大きいです。彼らは活動的

です。そして彼らは素晴らしい活動をしています。それだけでなく、活動することで素晴らしい時間を過ごしています。

生活に輝きを与えるロータリーの友情

もちろん、それが彼らの秘訣です。ロータリーには、強い友情と素晴らしい奉仕とが密接な関係にあります。活動が楽しければ、活動をしなくなります。さらに熱心に、より良い活動がしたくなります。私たちはロータリーの会合を楽しみにしています。たとえ忙しくてもロータリーを優先します。なぜなら、友達に会いたいから。そして奉仕をしたいから。109 年以上たった今もロータリーがあるのは、そんな理由からです。

如果人生没有朋友 就等於没有太陽

友のいない生活は、太陽のない生活のようなものである。ロータリーの友情は、私たちの人生に輝きを与えます。そして、奉仕と同様、ロータリーの友情は、「ロータリーに輝きを」与えるものなのです。

ロータリー財団の歴史

1917 年、アーチ C. クランフ RI 会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案。この基金が 1928 年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団にいたっています。

財団の成長は 1929 年、財団は初の補助金 500 ドルを国際障害児協会へ贈りました。この協会は、ロータリアンだったエドガー F. “ダディー” アレンが創設したもので、後にイースター・シールズ (米国の慈善団体) となりました。1947 年、ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付はポール・ハリス記念基金となって、その後のロータリー財団の発展のために役立てられました。財団プログラムの変遷は 1947 年、財団初のプログラム Fellowships for Advance Study (高等教育のためのフェローシップ) を開始。このプログラムは後に国際親善奨学金として知られるようになる。1965~66 年、財団が新たに研究グループ交換 (GSE) 技術研修のための補助金マッチング・グラントの 3 つのプログラムを開始。1978 年、保健、飢餓追放、人間性尊重 (3-H) 補助金プログラムを開始。3-H 補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの 600 万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。1985 年、全世界でポリオの撲滅をめざすポリオプラス・プログラムを設置。1987~88 年、初めての平和フォーラムが開催され、これがロータリー平和フェローシップ創設のきっかけとなる。2013 年、世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル (地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント) を導入。1917 年に 26 ドル 50 セントの寄付から始まったロータリー財団は、10 億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。